

傾聴ボランティア講座

人と人をつなぐ傾聴



参加者
募集!

- 私たちには、人に話を聴いてもらったり・涙を流したり・笑ったりすることで、心が少し楽になることを知っています。
- 相手の“こころ”に寄り添うことで、元気になり・安らぎを感じてもらうお手伝いをしませんか？
- 介護・子育て・ビジネス・コミュニケーションなどどのような状況の方にとっても必要な“傾聴力”をこの機会に学んでみませんか？
- ボランティア活動を通して、色々な人と出会い、さまざまな方の経験を知ることで、自分自身の学びとなることを、体感してみませんか？

1回目

日時：令和6年2月16日（金）
10:00～12:30

会場：河南町役場4階 大会議室（南）

- ①傾聴のメカニズムと意義
- ②心理療法・カウンセリングと高齢者傾聴について
- ③高齢者のかころ
- ④基本的な心構え
- ⑤傾聴時の基本的な応答例

2回目

日時：令和6年3月1日（金）
10:00～12:30

会場：河南町役場4階 大会議室（南）

- ①認知症の方への傾聴
- ②高齢者の真の願い
…つながり 優しさ
- ③傾聴を学ぶことは自分を知ること
…“気づき”的大切さ
- ④“他者への支援”は私たちにとつて？

講 師 傾聴ボランティア指導員 鴨志田五男氏

対象者 傾聴ボランティア活動に興味・関心のある方、
またはボランティア活動されている方

定 員 30名（先着順・両日参加者を優先します）

費 用 無料

持 ち 物 筆記用具

申 し 込 ん 方法

2月1日(木)午前9時以降、ボランティアセンターの窓口・電話・Googleフォームのいずれかの方法でお申し込みください。

協 力 河南町傾聴ボランティア「ロバの耳」・河南町ボランティア連絡会

申込み・問い合わせ

河南町ボランティアセンター（河南町社会福祉協議会内）

開設日：月曜～金曜日（祝日除く）午前9時00分～午後5時30分

場所：保健福祉センター（かなんぴあ）2階ボランティアルーム

電話番号：0721-93-6299



▲Googleフォームは
この二次元コード
を読み取ってください



この講座は、赤い羽根共同募金配分金の
一部をあてて開催します

小地域ネットワーク活動感謝の集い &ふれあい映画会

入場無料

日時：2/17(土) 13:00～16:30

会場：ぶくぶくドーム ぶくホール

第一部 式典

日々の地域における支え合い・助け合い活動に感謝を込めて、表彰状・感謝状を贈呈します。

第二部 事例報告 石川地区福祉委員会

町内では、旧小学校区を単位とした石川・白木・河内・中村・大宝の各地区福祉委員会が、地域内の要援護者を地域住民が中心となり福祉・保健・医療の関係者と協働してすすめる「支え合い」「助け合い」活動（※小地域ネットワーク活動）を進めています。この集いで、日頃の活動を踏まえた事例報告を通し、地域住民の見聞を広めていただくとともに意識の向上をめざし、また、日頃の活動に対する感謝を行ないます。

※小地域ネットワーク活動については裏面をご覧ください。

第三部 ふれあい映画会 「とんび」

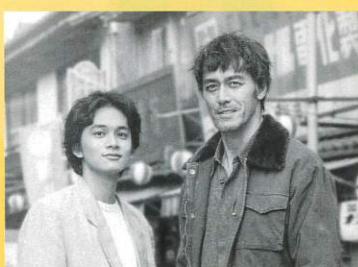


—— 便利な世の中だからこそ、人との繋がり、温もりを改めて確認させられました。僕がこうしていられるのも、周りで支え見守ってくれている人たちがいたから。 ——

俳優 工藤阿須賀

STORY 日本一不器用な男・ヤス（阿部 寛）は、愛する妻・美佐子の妊娠にも上手く喜びを表せない。幼い頃に両親と離別したヤスにとって、“家族”は何よりの憧れだった。時は昭和37年、瀬戸内海に面した備後市。アキラ（北村 匠海）と名付けた息子のためにも、運送業者で

懸命に働くヤス。だが、ようやく手にした幸せは、妻の事故死によって打ち砕かれる。悲しみに沈むヤスだったが、人情に厚い町の人々に叱咤激励され、彼らの温かな手を借りてアキラを育ててゆく。そんなある日、誰も語ろうとしない母の死の真相を知りたがるアキラに、ヤスは大きな嘘をついた——。



重松 清 永遠のベストセラー、親子の絆を描く感涙の名作、待望の初映画化

©2022『とんび』製作委員会



就学前（2～4歳）託児あり

ご希望の方は2/8(木)までに下記へお申込みください

主催 河南町社会福祉協議会／石川地区福祉委員会／白木地区福祉委員会

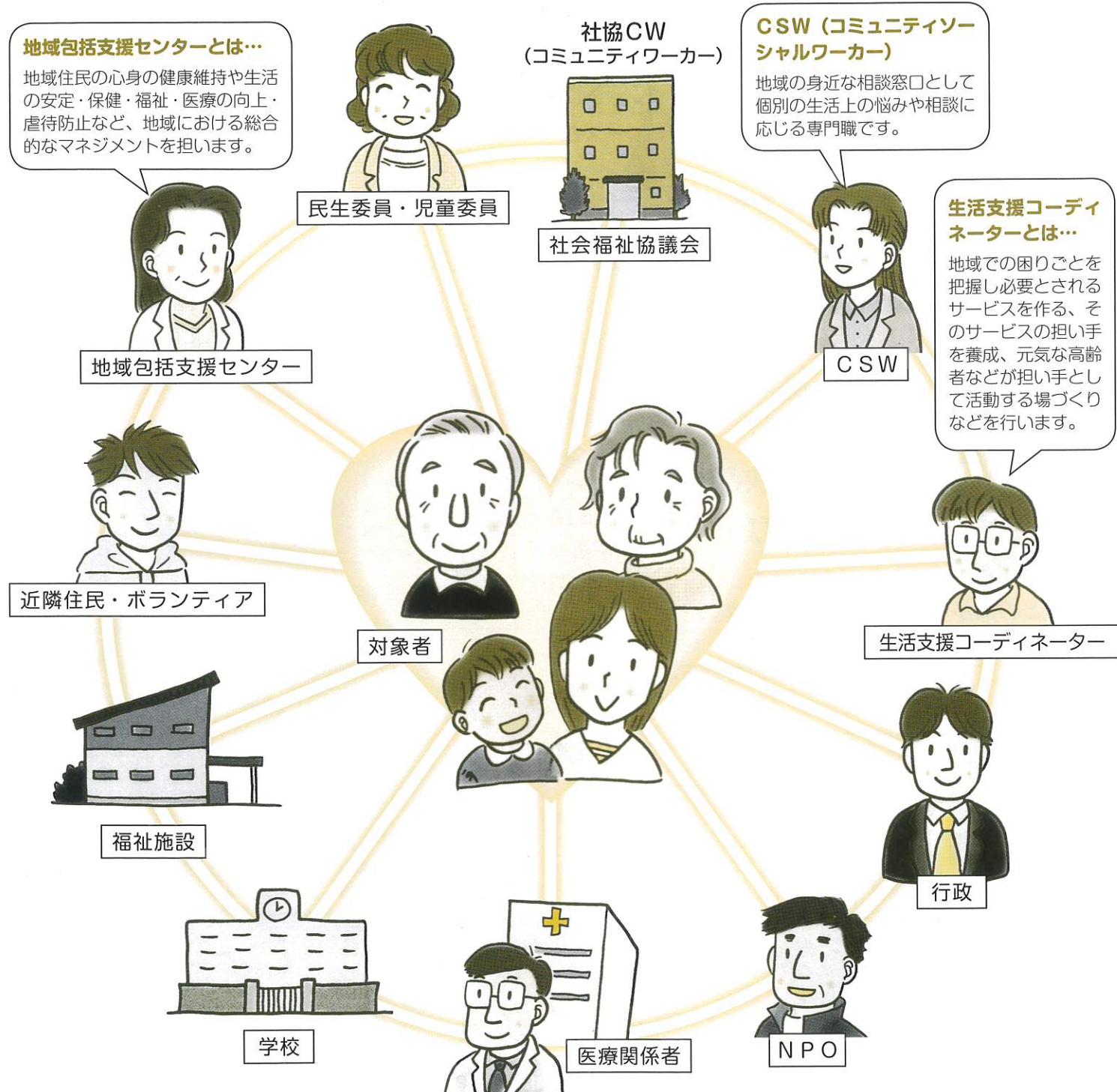
河内地区福祉委員会／中村地区福祉委員会／大宝地区福祉委員会

協力 河南町ボランティア連絡会

お問い合わせ 社会福祉法人 河南町社会福祉協議会 ☎0721-93-6299

小地域ネットワーク活動とは…

小地域（概ね小学校区）を単位として、地区福祉委員会（※①）を中心としながら要援護者一人ひとりを対象に、保健・福祉・医療などの関係者と住民が協働して進める、見守り・援助活動です。地域の高齢者、障がい（児）者、及び子育て中の親子など（※②）が地域の中で孤立することなく、安心して生活できるよう地域住民による支え合い助け合い活動を展開し、地域における福祉の啓発と住みよい福祉の町づくりを進めようというものです。



※①：地区福祉委員会とは…

地域住民やボランティア、関係機関・団体の参画により、生活に関わる様々な課題や地域ニーズを把握し、その解決のための個別支援や交流活動、関係機関等との連絡調整や広報啓発等を行なっています。その重点的取組みのひとつが小地域ネットワーク活動です。

※②

その他、外国籍住民やホームレス等、日常的な支援・見守りを要する人々がふえています。